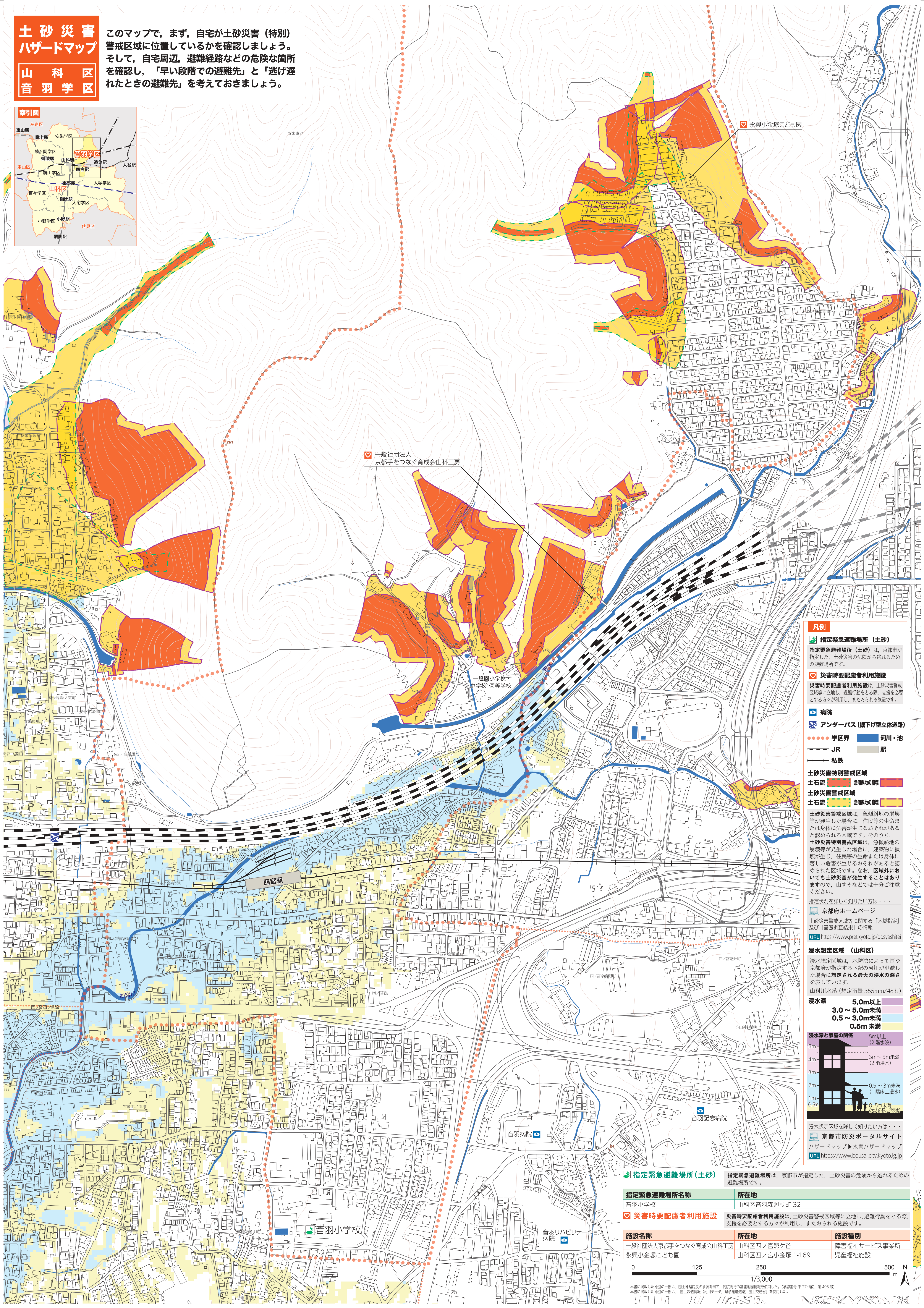


土砂災害
ハザードマップ

山科区
音羽学区

このマップで、まず、自宅が土砂災害（特別）警戒区域に位置しているかを確認しましょう。そして、自宅周辺、避難経路などの危険な箇所を確認し、「早い段階での避難先」と「逃げ遅れたときの避難先」を考えておきましょう。



凡例

指定緊急避難場所（土砂）
指定緊急避難場所（土砂）は、京都市が指定した、土砂災害の危険から逃れるための避難場所です。

災害時要配慮者利用施設
災害時要配慮者利用施設は、土砂災害警戒区域等に立地し、避難行動をとる際、支援を必要とする方々が利用し、またおられる施設です。

病院

アンダーパス（掘下型立体道路）

学区界 **河川・池**

JR **駅**

私鉄

土砂災害特別警戒区域

土砂流 **急傾斜地の崩壊**

土砂災害警戒区域

土砂流 **急傾斜地の崩壊**

土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。そのうち、土砂災害特別警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。なお、区域外においても土砂災害が発生することはありますので、山すそなどでは十分ご注意ください。

指定状況を詳しく知りたい方は・・・

京都府ホームページ
土砂災害警戒区域等に関する「区域指定」及び「基礎調査結果」の掲載
[URL https://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei](https://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei)

浸水想定区域（山科区）
浸水想定区域は、水防法によって国や京都府が指定する下記の河川が氾濫した場合に想定される最大の浸水の深さを表しています。
山科川水系（想定雨量 355mm/48h）

浸水深

5.0m以上
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.5m 未満

浸水深と家屋の関係

5m以上 (2階水没)
4m
3m～5m未満 (2階浸水)
2m
1m
0.5m
0.5～3m未満 (1階床上浸水)
0.5m未満 (人の膝まで浸水)

浸水想定区域を詳しく知りたい方は・・・

京都府防災ポータルサイト
ハザードマップ▶水害ハザードマップ
[URL https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp](https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp)

指定緊急避難場所(土砂)		
指定緊急避難場所名称	所在地	
音羽小学校	山科区音羽森廻り町 32	
災害時要配慮者利用施設		
災害時要配慮者利用施設は、土砂災害警戒区域等に立地し、避難行動をとる際、支援を必要とする方々が利用し、またおられる施設です。		
施設名称	所在地	施設種別
一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科工房	山科区四ノ宮熊ヶ谷	障害福祉サービス事業所
永興小金塚こども園	山科区四ノ宮小金塚 1-169	児童福祉施設

0125250500

1/3,000

N

本書に掲載した地図の一部は、国土院院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 27 保地 第 405 号）
本書に掲載した地図の一部は、「国土数値情報（町川データ、緊急輸送道路）」（国土交通省）を使用した。